

平成20年度事務事業評価表	担当	市民福祉部 福祉課	内線等	2111
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	障害者デイサービス事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	3.健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	障害者(児)福祉	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

#### 事務事業の内容

対象(受益者)	新体系(生活介護)への移行が困難な事業所を利用している障害者が
手 段	継続してデイサービスを受けることにより
成果、目標	心身機能向上を図ることにより自立した生活を目指す。

#### 成果指標

成果指標名	1回当たりの費用		1人当たりの利用回数
成果指標の説明	年間費用 / 年間利用回数		利用延回数 / 利用人員
指標の推移	平成19年度決算(実績)	平成20年度決算(実績)	平成21年度予算(計画)
成果指標	6,041円	6,146円	7,010円
成果指標	90回	86回	91回

#### 事業の概要

項 目	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度計画
デイサービス費用	4,367,360円	4,240,600円	5,117,000円
利用人員	8人	8人	8人
利用延回数	723回	690回	730回

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	0.12人	次長 課長級	0.02人	補佐級	0.00人	係長級	0.02人	一般職	0.06人	非常勤	0.02人	再任用	0.00人
-----	-------	-----------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費を含む事業費	事業費	4,241
	人件費	756
	合計	4,997
財源内訳	特定財源	0
	一般財源	4,997

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	<p>障害者デイサービス事業を実施している事業者で新体系（生活介護）へ移行が困難な事業所を、障害者が継続的に利用することにより、心身機能向上及び家族の身体的、精神的負担の軽減に役立っている。</p> <p>なお、利用している障害者は、自宅での入浴が困難であったり、問題行動が多いため、生活介護事業所でのサービスを受けることが困難である。</p>
-------------	----	--

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	<p>障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年10月からは、新体系へ移行した事業所の利用者は、障害程度区分により介護給付の生活介護サービス事業所で、昼間は入浴、排泄、食事の介助等の支援を受けるとともに、創作的活動又は生産活動のサービスを受けるようになった。</p>
現在の課題、問題点	<p>障害者自立支援法が施行され、新体系へ移行できない事業所を利用している障害者のために、経過的措置として、市町村事業の地域生活支援事業として実施しているが、障害福祉サービスの生活介護より一般財源が多く必要となること。また、人間として生活するための入浴回数の保証も課題となっている。</p>
今後の改善計画	<p>現行の入浴デイサービスは、大塚デイサービスの1箇所、限られた人数、曜日の対応であり、障害者ニーズを満たしていないために、もう1箇所、障害者の対応可能なデイサービス事業所が望まれる。</p>